

# 次代を担う

## ～青年中央会の会員紹介～

「三重県中小企業青年中央会」は、三重県中小企業団体中央会の会員組合に組織されている青年部を会員としています。会員相互の連携と組合青年部等の事業活動を強化することにより、次世代を担う指導者の養成を図り、中小企業並びに組合の事業活動促進、企業の振興発展に寄与することを目的としています。ここでは、青年中央会会員である組合青年部さんをご紹介します。



## 三重県板金工業組合 青年部

## 青年部長 柳本 秀人氏

当組合青年部は、昭和52年11月17日に設立され、平成29年に40周年を迎えます。第20代青年部長を務める柳本秀人さんは、平成27年6月に就任されました。

板金には、一般的に建築板金と工場板金があり、当組合員が行うのは、主に建築板金です。

金属のうす板を切断したり、曲げたり、貼り合わせたりすることにより様々な形状に加工し、屋根・外壁・雨どいをはじめ、厨房用金物・ダクト・天蓋・排気筒、そして内壁・工芸品などの建築板金製品の製造や取付け等も行い、新築増改築、リフォームなどを行うときには無くてはならない大切な業種です。

組合員の中で、「板金業は、銅板という2次元のもの(平面)を3次元(立体)に加工して、4次元の世界で時代を超えて技術を伝える仕事」とも言われており、建築板金の技能・技術を後世に残さなくてはならないと感じています。

青年部は発足当時より、特に教育訓練事業やリクレーション事業に取り組んできました。

教育訓練事業の活動としては、一般社団法人日本建築板金協会主催の「全国建築板金競技大会」に参加しています。

各県から出場する選手が、銅板で作品をつくり、できばえや精度を競うもので、技術の向上を図るため、親組合に相談し、講習してもらうこともあります。



全国建築板金競技大会の様様

また、毎年参加している「全国板金業次世代研究会」は、経営に必要な業界の後継者としての企業理念の構築に役立つばかりでなく、施工技術管理の向上や技術の継承、研究会会場で行われるメーカーによる新商品、新材料等の展示により、新技術を積極的に取り入れることができます。



伊勢楽市の模様

更に近年では、鈴鹿市や鳥羽市の中学校へ出向いての「ものづくり教室」の開催や、伊勢神宮外宮前で開催される「伊勢楽市」にも積極的に出展し、銅板のヘラだし体験や銅板リーフづくり、銅板折り鶴づくり体験などを行っています。



ヘラ出し体験

いずれも好評で、「伊勢楽市」では、小学生から大人まで幅広い年齢層の方が参加されます。柳本青年部長は、「子供たちに体験してもらうことはもちろんですが、まずは職業としての『建築板金』という職種を知ってもらいたい。」と話します。

レクリエーション事業では、年1回研修旅行を開催しており、部員同士が、支部の中だけでなく広域で横のつながりを持ち、仕事にも結び付けてほしいと考えています。

最後に青年部の今後について伺うと、「横のつながりを強化したい。そして、青年部員が外部の研修会等に参加して新しい知識を得て、商売に繋げていってほしい。」と話していました。